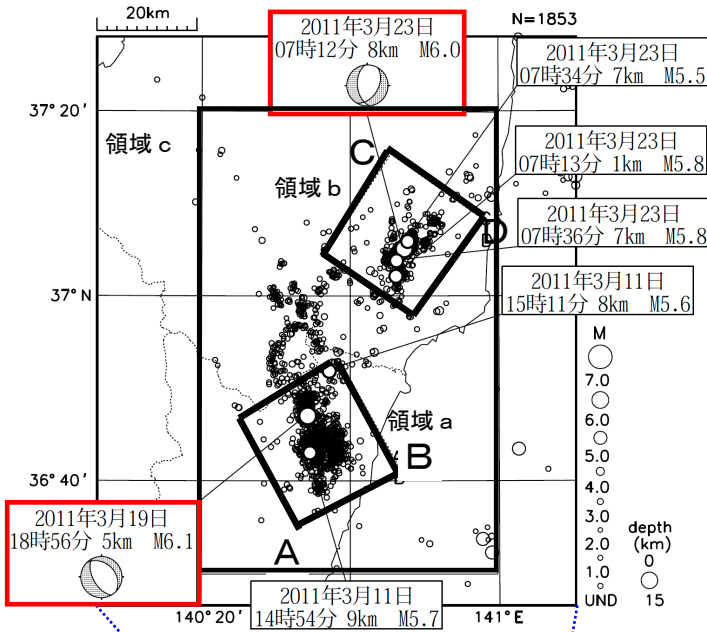


3月11日からの茨城県北部から福島県浜通りにかけての地震活動

震央分布図 (2011年3月1日~2011年4月5日
深さ0~15km、Mすべて)



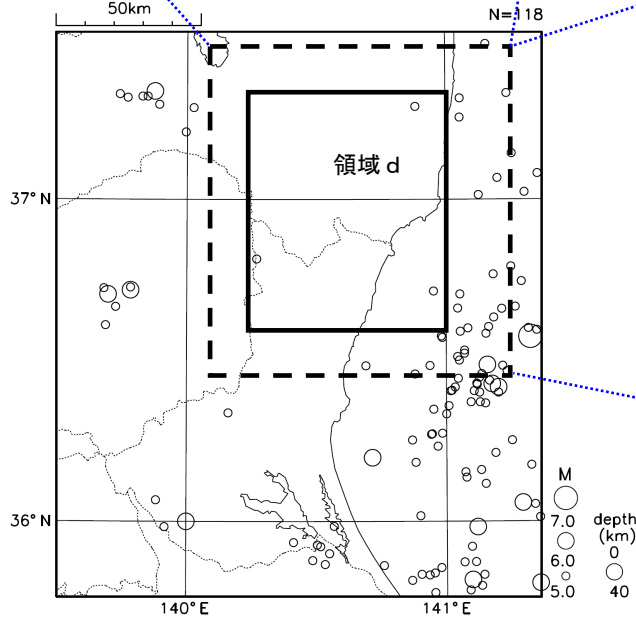
2011年3月19日18時56分に茨城県北部の深さ5kmでM6.1の地震(最大震度5強)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型で、地殻内で発生した地震である(この地震による被害は不明)。

また、2011年3月23日07時12分に福島県浜通りの深さ8kmでM6.0の地震(最大震度5強)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は東西方向に張力軸を持つ正断層型で、地殻内で発生した地震である(この地震による被害は不明)。

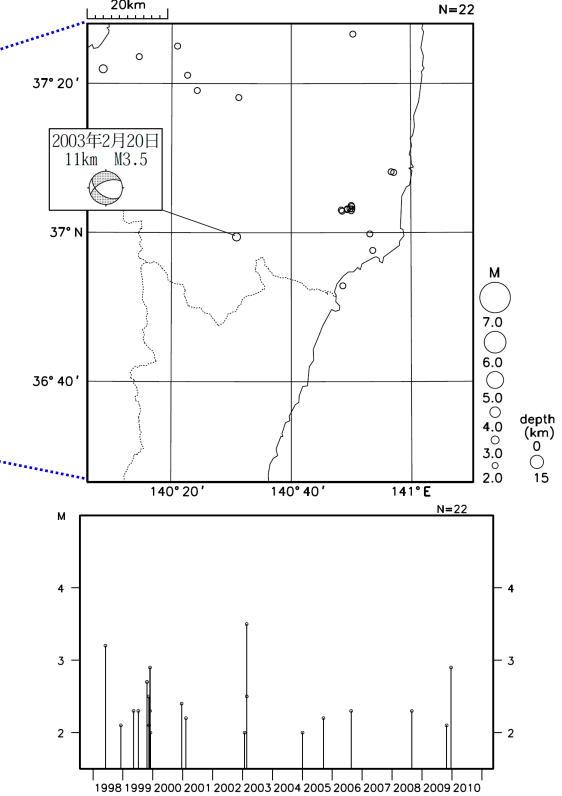
余震は徐々に少なくなっている。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域d)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」が発生する前までの間、M5.0以上の地震はほとんど観測されていない。

震央分布図
(1923年8月1日~2011年3月11日14時45分、
深さ0~40km、M≥5.0)

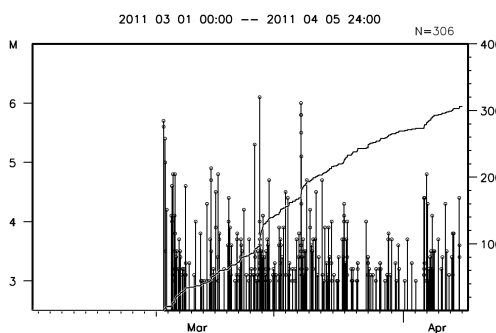


震央分布図と地震活動経過図
(1997年10月1日~2011年3月11日14時45分、
深さ0~15km、M≥2.0)

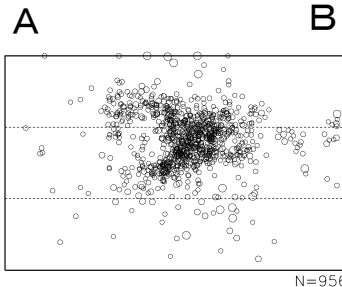


領域c内の地震活動経過図、回数積算図

(2011年3月1日~4月5日:
深さ0~15km、M≥3.0)



領域aのAB垂直断面図



領域bのCD垂直断面図

